

## 事業終了報告 概要表 (1頁以内)

|        |                                       |     |            |       |       |
|--------|---------------------------------------|-----|------------|-------|-------|
| プログラム名 | 南スーダン緊急支援 2014 (初動対応期、 <b>緊急対応期</b> ) |     |            |       |       |
| 事業名    | エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育・子ども保護事業 1 |     |            |       |       |
| 開始日    | 2014年8月1日                             | 終了日 | 2015年3月31日 | 日数    | 243日間 |
| 団体名    | 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン               |     | 担当者名       | 中村 夕貴 |       |

|          |              |                                 |        |               |        |
|----------|--------------|---------------------------------|--------|---------------|--------|
| JPF 助成総額 | 41,816,337 円 | 区分: 政府支援金 41,816,337 円、民間資金 0 円 |        |               |        |
| 支出額      | 40,821,493 円 | 98%                             |        | 日本国内<br>(都市名) | 事業対象国名 |
| 直接事業費    | 29,897,982 円 | (73%)                           |        | 国際スタッフ        |        |
| 間接事業費    | 10,923,511 円 | (27%)                           | 現地スタッフ |               | 8.1 人役 |
| 返還金額     | 994,844 円    | 2%                              |        |               |        |

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| 事業目的          | エチオピア南スーダン難民キャンプにおいて、子どもたちに教育や適切な保護・ケアを提供することを通じて、子どもたちの生命や権利、尊厳を守る。   |  |
| 事業の成果<br>(概要) | ガンベラ州の南スーダン クレ難民キャンプで暮らしている、難民の大半を占める紛争から避難した子どもたちに対し、緊急時における教育支援として、小学校校舎の建設、学校備品の調達・設置、学校職員の採用・研修の実施、保護者や難民コミュニティに対する意識啓発活動、学校管理委員会の養成、初等教育の提供を行った。これらの活動によって、2,572 人の子どもたちの初等教育 (5-8 年生) へのアクセスが向上した。キャンプ内の初等教育学齢期の子ども 21% <sup>1</sup> に対し、安全な学習環境にて教育や適切な保護・ケアを提供を通じて、難民キャンプでの困難や危険の多い中で、子どもたちの保護、および自立性と対処能力向上に貢献した。   |  |
|               | 成果の達成度とそこから得た学び  | 裨益者 (誰が、何人)  |
|               | <p>以下の活動を計画通りに実施し、2,572 人の子どもたちが小学校 5-8 年生課程の教育を安全な環境で受けることができた。</p> <p>① 対象校 2 校における小学校校舎の建設<br/>         ② 生徒用の机・椅子や黒板、棚などの学校備品の調達・設置<br/>         ③ 学校職員 94 人の採用、教員研修の実施<br/>         ④ 保護者や難民コミュニティに対する意識啓発活動の実施<br/>         ⑤ PTSA の設置、研修実施<br/>         ⑥ 学用品配布<br/>         ⑦ 生徒の登録、学校運営のフォローを通じた初等教育の提供サポート</p> <p>校舎の整備については、建設業者の能力的課題のため、工程の遅延や修正作業の必要がでるなど、課題も多かったが、仮設校舎の設置や増設などを通じて、対処し、最低限の学習環境を継続して提供できた。また、学校職員の勤怠管理、時間割通りの学校運営、学校職員の役割・責任の再確認など、学校運営の基本について校長に継続してアドバイスし、学校運営のフォローアップを徹底したことにより、最低限の質を担保した初等教育を提供することができた。</p> | <p>a) 生徒 2,572 人<br/>         b) 学校職員 94 人<br/>         c) コミュニティ代表者 46 人<br/>         d) PTSA メンバー 20 人</p> |

<sup>1</sup>小学 1-4 年生を対象にプラン・インターナショナルが教育支援を行っており、初等教育の対象となる 11-14 歳の子ども 12,189 人のうち、合わせて 89%が学校に通っている。(2015 年 4 月 1 日時点)